

神楽通信

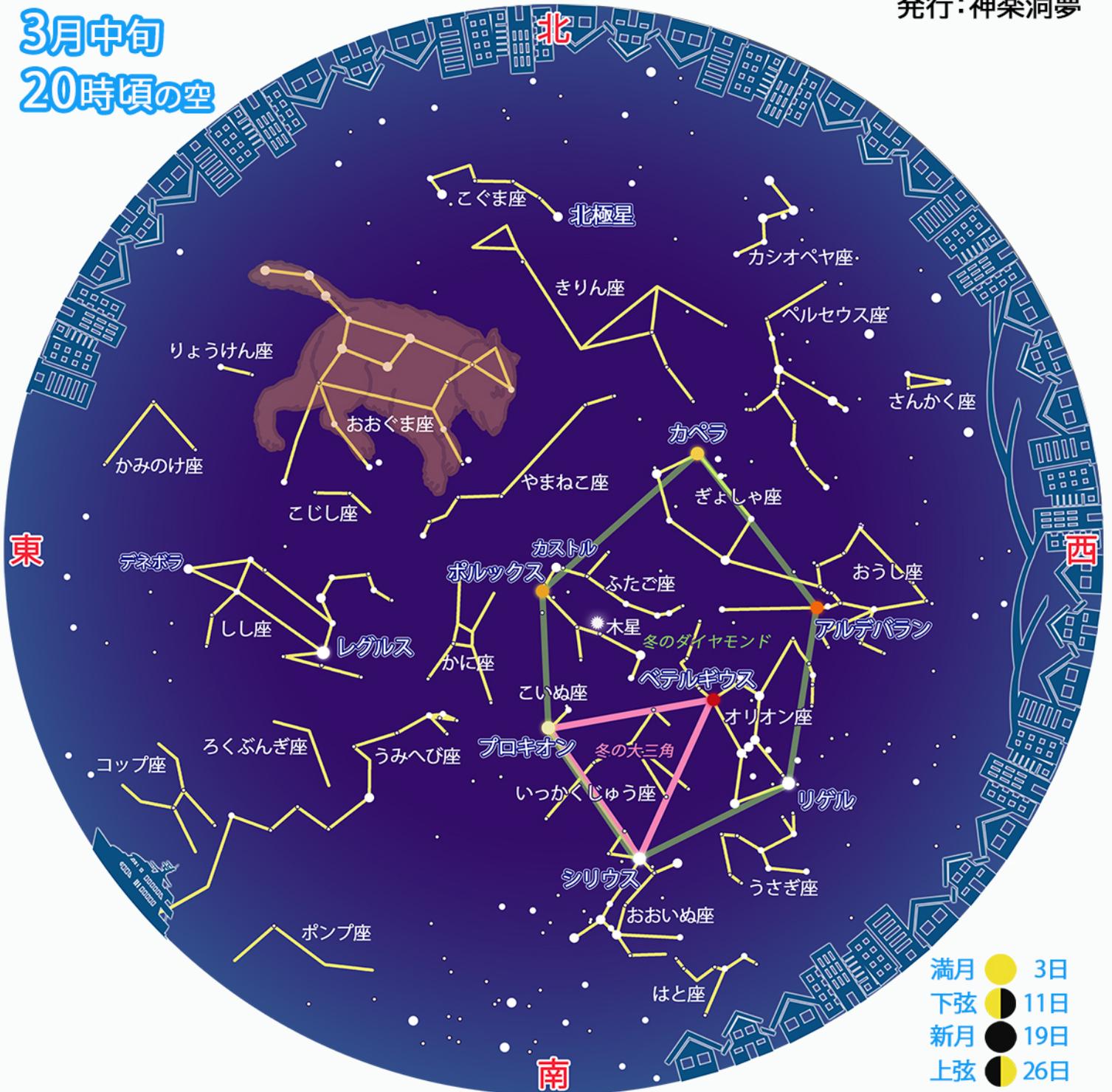
No.121

2026年

3月号

発行:神楽洞夢

3月中旬
20時頃の空



3月中旬20時頃、東の空には春の星座たちが昇ってきます。その中でも北寄りの空に冬眠から目覚めた大きな熊が「おおぐま座」として描かれています。おおぐま座の目印は背中から長いしっぽのあたりに輝く「ひしゃく」の形です。ここには七つの星が輝き、日本や中国では「北斗七星」と呼んでいます。春から夏にかけて、大きな熊が夜空をかけまわります。夜空の熊に注目してみてください。

夜空に見えるカニは春先が見頃？

カニといえば「冬の味覚の王様」といわれますが、夜空では旬の時期からは少し遅れて、「かに座」が春の訪れを教えてくれます。

友達思いのお化けガニ

かに座は、ギリシャ神話で勇者ヘルクレスとの戦いに登場するお化けガニの姿です。お化けガニは友達の怪物ヒュドラがヘルクレスと戦っている時に、ヒュドラを助けようとヘルクレスに立ち向かいます。



しかし、ヘルクレスにあっけなく踏み潰され、負けてしまいます。その様子を見ていた神様が友達のために勇敢に戦った功績をたたえて星座になりました。



かに座は明るい星が少なく、控えめに輝いていますが、近くには、ふたご座の「ポルクス」、しし座の「レグルス」という1等星が輝いていますので、明るい星を目印に探すことができます。



カニの甲羅で輝く星々

かに座の甲羅の場所には、カニ味噌ではなく、「プレセペ星団」という散開星団を見つけることができ、たくさんの星々が集まっています。双眼鏡や望遠鏡で覗いた姿は宝石の輝きのように見えるため、かに座の「宝石箱」と言われています。

またこのような散開星団という星の集まりは、比較的若い星で、ある星雲の中から星がたくさん形成された場所です。プレセペ星団には50個以上の星々が集まっていますが、その星々はみんな同じ時期に生まれ育った星です。双子、三つ子ならぬ、五十つ子のようなイメージをすると、この星団を見つけたときに可愛らしく思えてくるかもしれません。

提供:国立天文台



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
http://kagura-dome.jp TEL. 059-221-3121 FAX.059-226-1565